

令和6年度府中市立府中第六小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

◎児童・生徒の資質・能力を育成するため、教育活動で特に重視する4つの視点
 → 【発見すること】【対話すること】【決定すること】【表現すること】

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（児童の学び方）

- ① 課題の解決に向け積極的に自分で考え、自分から取り組む児童がやや少ない。 【発見・決定】
- ② 自分と異なる意見について考えることを楽しいと感じる児童がやや少ない。 【対話】
- ③ 目的や意図に応じて内容を整理し、相手に伝わるように書き表し方を工夫している児童がやや少ない。 【表現】

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ① 児童の問い、考えを活かした授業づくり。 【発見・決定】
- ② 考えの深まりを実感するための、意見交流の場の設定。 【対話】
- ③ 自分の考えを相手に分かりやすく伝えるための話型や表現方法の提示。 【表現】

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す児童の学びの姿

- ・自ら進んで目標や課題を見付けている。 【発見】
- ・課題に対して自分の考えをもち、見通しをもつことができている。 【決定】
- ・友達と考えを共有し、考えを広げたり深めたりしている。 【対話】
- ・自分に合った表現方法を選んで取り組んでいる。 【表現】

(2) 目指す授業像

- ・児童から出た問いを学習課題につなげ、単元全体のねらいと児童に身に付けさせたい力の一体化を図る授業。 【発見・決定】
- ・導入と振り返りを工夫した授業 【発見・決定】
- ・児童が自分に合った学習の進め方や課題を選択できる授業。 【決定】
- ・ペア、グループで考えを共有し、学び合いができる授業。 【対話】
- ・考えの実現に向けて、児童がすすんで表現しようとする授業。 【表現】

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	教材との出会いから生まれた児童の問いを基にして学習計画を練り上げ、友達と考えを共有しながら読み取ったり表現したりする学習活動に取り組む。 【発見・対話・表現】	音楽	児童が思いや意図をもって表現できるように、演奏技能や音楽の要素について理解し、表現活動に結び付けられるような授業展開を行う。 【発見・表現】
算数	具体物や図、数直線などを用いて量感を育て、視覚的な理解を促し、それらを用いて立式したり自分の考えを表現したりする活動を行う。 【対話・表現】	図画工作	様々な材料や道具の使い方を試行錯誤する機会を設定することで、表現の幅を広げて自分の表現に活かすことができるようにする。 【発見・表現】
社会	単元を通した学習問題を児童の課題意識から設定し、解決に向けた探究活動を主とした授業展開を行う。 【決定・表現】	家庭	単元を通した学習課題を設定させ、課題解決に向けた探究活動と、技能を習得することを主とした授業展開を基本として、実生活に役立てられるようにする。 【発見・決定・表現】
理科	日常生活から生まれた問いから学習課題を設定し、児童が自ら問題を解決する方法を発想したり問いの答えを実験結果から考察したりする授業展開を行う。 【発見・対話・表現】	体育	学習の目標に向けて講じた手立てが有効であるか振り返り、児童の考えや活動の様子に応じて教具や場の提供の仕方、学習形態を工夫して運動能力を高める授業展開を行う。 【決定・表現】
生活	身近な人や物、事柄に関心をもてるように、児童の思いや願いを活かした学習活動を進め、具体的な活動や体験から感じた疑問や思ったことを共有し合う授業展開を行う。 【発見・対話】	外国語	歌やチャンツ等を用いて言語材料に十分親しませ、児童が自信をもって自分の思いや考えを表現できる授業展開を行う。また、思いや考えを表現したくなるように、単元構成や言語活動を工夫する。 【表現】

(2) 児童用タブレット端末の活用【市共通】

- ・学習や生活の場面で、課題の解決の道具として、ICT 機器を活用したり、友達と協働的にツールを活用したりする力を育む。【表現】
- ・教職員への周知や研修の充実を図り、目的に応じて ICT 機器を効果的に活用できるよう、実践事例から学ぶ機会をつくり、授業の改善・充実を図る。